

YAMAHA

感動を・ともに・創る

YAMAHA GINZA

銀座
オペラ



～銀座オペラ vol.3～
『イル・トロヴァトーレ』
ハイライト

Il Trovatore

G. ヴェルディ作曲

“生き別れた兄弟を巡る
運命と愛憎のドラマ”

エレクトーン：清水のりこ
演出：彌勒忠史

2014 年
4月9日(水)・10日(木)

19:00 開演 / 18:30 開場

ヤマハホール

全席指定

各日 7,500 円 (消費税込)

＜チケットのご予約・お申し込み＞

チケットぴあ 0570-02-9999

<http://pia.jp/t/> (Pコード 224-340)

＜お問い合わせ＞

ヤマハ 銀座ビル インフォメーション

03-3572-3171 (11:00 ～ 19:30 第2火曜定休)

主催：ヤマハ株式会社



© Kei UESUGI

レオノーラ：小川里美 (S)



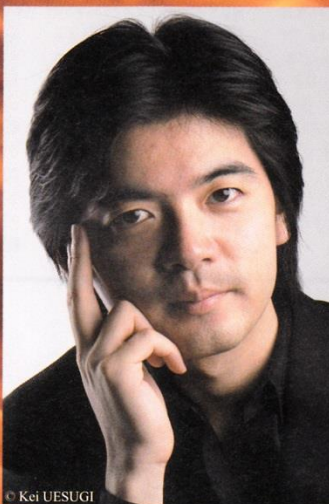
© Flavio GALLOZZI

マンリーコ：笛田博昭 (T)



© Yoshinobu FUKAYA(aura)

アズチーナ：鳥木弥生 (Ms)



© Kei UESUGI

ルーナ伯爵：与那城 敬 (Br)



ヤマハホールの公演情報を Facebook でご確認ください ▶ <http://www.facebook.com/yamahahall/>



銀座オペラとは

誰もが心沸き立つ銀座の街で、オペラをより身近に楽しんでいただくために…。オペラの新しいかたち、新しい楽しみ。ヤマハからの提案です。

名作オペラの「ハイライト」中心に

<銀座オペラ>は、誰もがそのタイトルを聞いたことがあるような著名なオペラのハイライト場面を、メインの登場人物で演じるスタイル。日本語字幕付きですので、オペラが初めてという方には最初的一步として親しみやすく、また、オペラをよくご存知の方にも見どころ聴きどころが凝縮された中身の濃い舞台をじっくりとご堪能いただけます。

銀座だからこそ、ヤマハホールだからこそ



日本で最も洗練された大人の街、銀座。その中央通りにある銀座ビル7階のヤマハホールで上演されるのが<銀座オペラ>です。開演前に夕闇迫る街並みを楽しみ、終演後はイルミネーションきらめく街をそぞろ歩く…。銀座の街がオペラ鑑賞をさらに素敵に演出してくれます。

トップクラスのオペラスターの「歌声の中」で



歌手は国内外で活躍する今が旬の実力派揃い。声、演技、音楽、すべてが一流です。全333席、ステージと客席が一体となったヤマハホールでなら、その声、息遣い、表情までをも手に取るように感じられます。まるで楽器の中にいるような、降り注ぐ歌声に包まれているような…。これまでにない迫力と臨場感あるオペラを体験できます。

エレクトーンが実現する豊かで多彩なオーケストラサウンド

<銀座オペラ>をサポートするのは、ヤマハが誇る最先端の電子楽器・エレクトーン。日本屈指のエレクトーン奏者による重厚かつ繊細なサウンドでオペラを楽しめるのも<銀座オペラ>のもう一つの魅力です。



Il Trovatore

「イル・トロヴァトーレ」出演者プロフィール

東京二期会・藤原歌劇団のスター競演!!



小川里美 Satomi Ogawa
＜ソプラノ＞

東京音楽大学並びに同大学院修了。新国立劇場オペラ研修所6期生修了。文化庁新進芸術家海外留学制度奨学金を得てミラノに留学。2009年ヴェローナ・テアトロ・フィアルモニコ劇場でイタリアデビュー後、オペラ出演とオーケストラ共演を重ね、日本国内のみならず欧米での活躍も期待されるソプラノ歌手である。表現力豊かな美声と高い音楽性は深く信頼されている。第19回日本声楽コンクール第3位。第44回日伊声楽コンクール第3位。2009年トゥーランドット国際コンクール優勝者。シャネル・ピグマリオン・デイズ参加アーティスト。



鳥木弥生 Yayoi Toriki
＜メゾソプラノ＞

E.オプラスツォフに見出され、東欧で活動を開始。日本では岩城宏之との共演でデビュー。2007年文化庁の奨学金を得て渡仏し、パリ・エコール・ノルマル音楽院オペラ芸術科のディプロマを最高位で取得。数々の国際コンクールに入賞し、フレンツェ市立歌劇場『ジャンニ・スキッキ』でオペラデビューの後、ヨーロッパ各国において、ビゼー『ジャシ』主演、プッチーニ『蝶々夫人』スズキなど様々な役柄で好評を博す。国内でも『カルメン』など、メゾソプラノの重要なオペラレパートリーや、コンサート、オラトリオでも活躍中。武蔵野音楽大学講師。藤原歌劇団団員。



笛田博昭 Hiroaki Fueda
＜テノール＞

名古屋芸術大学、同大学院修了。中島基晴氏、Lina Vasta氏に師事。2003年名古屋芸術大学特別公演『トゥーランドット』でオペラデビュー後、数々のオペラ、ホールオペラ、コンサート等に出演。2012年にイタリア留学より帰国し、西本智実プロデュース『蝶々夫人』、藤原歌劇団『仮面舞踏会』、K-BALLET Companyバレエ公演『第九』等に出演。2013年11月にはイタリア・ヴェチカン国際音楽祭の枢機卿ミサで歌う。2009年五島記念文化賞オペラ新人賞、2011年文化庁新進芸術家海外研修、他多数のコンクール等入賞。



与那城敬 Kei Yonashiro
＜バリトン＞

新国立劇場オペラ研修所第5期修了。2006年東京二期会『コジ・ファン・トゥッテ』グリエルモでデビュー。第16回マリオ・デル・モナコ国際声楽コンクール入賞。文化庁在外研修員としてミラノへ留学。第18回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位。その後、東京二期会『エウゲニー・オネーギン』オネーギン、『フィガロの結婚』伯爵、新国立劇場『愛の妙薬』ベルコレ、『鹿鳴館』影山悠教伯爵、日生劇場『メデア』イヤソン等に出演。本年は新国立劇場『マリヤッチ』『鹿鳴館』に出演予定。CD『FIRST IMPRESSION』をリリース。桐朋学園大学非常勤講師。二期会会員。



清水のりこ Noriko Shimizu
＜エレクトーン＞

1992年電子オルガンコンクール全国大会グランプリ。クラシックのエレクトーン演奏家として、これまで国内外で数々の演奏会に出演。1台のエレクトーンによるオペラ、現代音楽作品、協奏曲、他楽器、他ジャンルとのコラボレーションなどに取り組む。1997年には、日本人エレクトーン奏者として初めてカーネギーホールにて邦人作品を演奏、ニューヨーク『Concert Review』誌に“Virtuoso”と評された。緻細で豊かな表現と高い演奏力が定評である。ヤマハエレクトーンシティ渋谷契約奏者、日本電子キーボード音楽学会正会員。



彌勒忠史 Tadashi Miroku
＜演出＞

千葉大学大学院修了。東京藝術大学卒業。CD『B.ストロツィのカンタタ集』（「レコード芸術」ヘヴィ・ローテーション盤）、「No early music. No life?」（朝日新聞推薦盤）など。著作『イタリア貴族養成講座』（集英社）、NHK「テレビでイタリア語」、「ぶらあぼ」、「教育音楽」連載記事など。在日本フェッラーラ・ルネサンス文化大使。数々の古楽公演やA.ライマン『メデア』（平成24年度文化庁芸術祭音楽部門「大賞」）などでの好演により、平成24年度（第63回）芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。カウター・テナー。二期会会員。

◆ ヤマハホール 交通のご案内

東京メトロ銀座線・丸ノ内線・日比谷線「銀座」駅A3出口より徒歩4分
JR線・都営地下鉄浅草線・東京メトロ銀座線「新橋」駅より徒歩7分
都営地下鉄浅草線・東京メトロ日比谷線「東銀座」駅より徒歩7分

